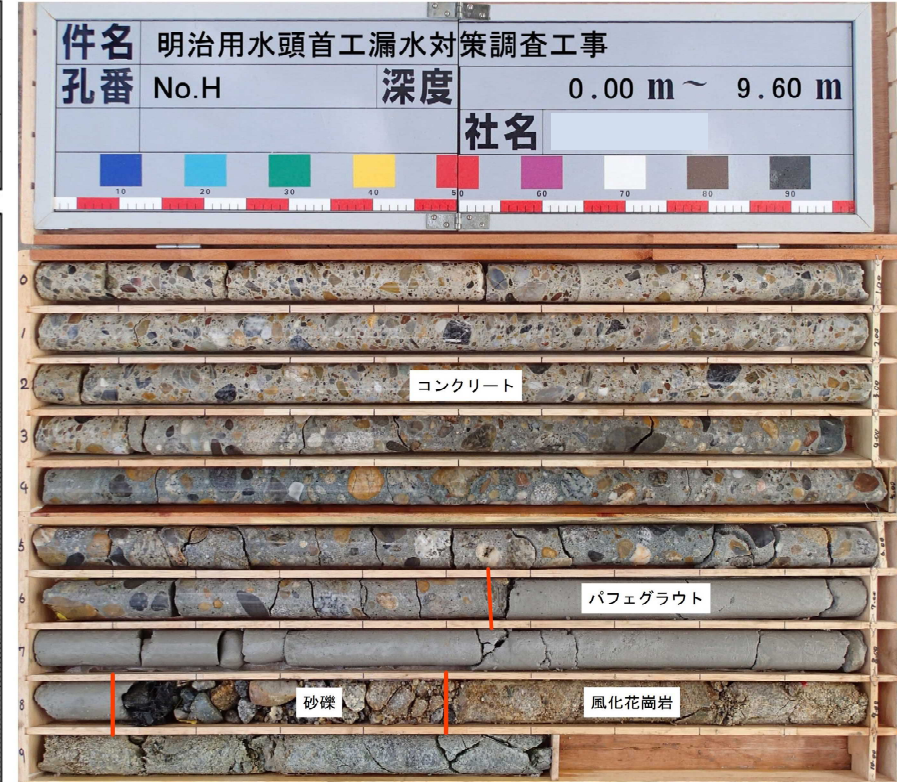


4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

P1堰柱下ボーリング調査結果 (H)

ボーリング柱状図

ボーリング名	No. H		調査位置	愛知県豊田市室町7丁目地内		北緯	35° 2' 44.3"	
発注機関	農林水産省東海農政局矢作川総合第二期農地防災事業所		調査期間	令和5年2月15日～5年2月20日		東経	137° 10' 43.9"	
調査業者名	電話	主任技師	現代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	27.50m	角	180°上	90°	方	北	0°	90°
総掘進長	9.60m	度	0°	17°	向	西	180°	東
		地盤勾配	鉛直	水平	0°			
		使用機種	ハンマー落下用具		半自動			
		エンジン	ポンプ					



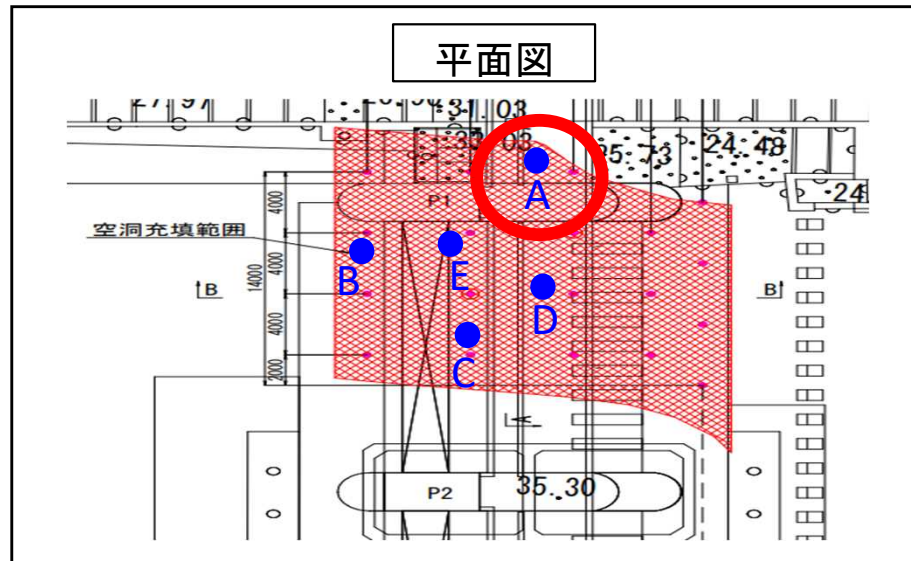
標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進
									深	10cmごとの	打撃回数	N 値				
									孔内水位 (m) / 測定月日							
1				コンクリート	淡灰 / 青灰			比較的硬質で、ハンマーの打音は金属音を発する 粗骨材は3.1m以浅はφ5~10mm程度が主体であるが、3.1m以深は径が大きくなり、φ50mmを超えるものも多量分布 3.1m付近を境界に、若干色調も異なる								
2																
3																
4																
5																
6																
7	21.24	6.55	6.55					全体に均質で、硬軟はやや硬質 8.1m付近に土糞混入								
8	19.75	1.55	8.10	充填材	灰											
9	19.37	0.40	8.50	砂礫	褐灰			礫はφ10~50mm程度が主体で、隙間に粗砂~細砂が分布 岩質はやや硬質であるが、風化部は軟質 岩片状コア主体で、亀裂が発達し、亀裂面に沿って一部土砂状 岩礫区分は粗~Cl級程度								
10	18.32	1.10	9.60	風化花崗岩	灰 灰											

4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

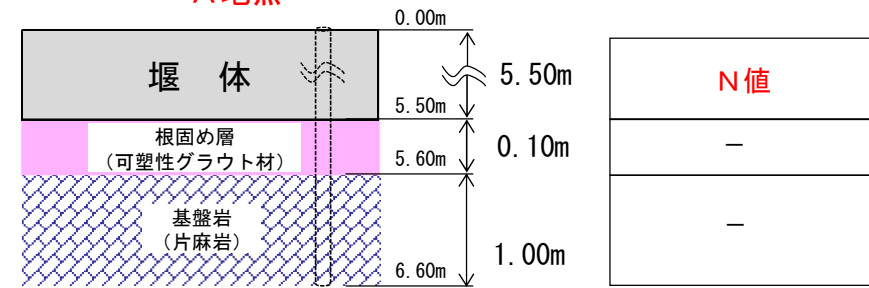
OP1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [A地点] (9月22日)

- 根固め工（可塑性グラウト）とその下の堆積土砂の支持力確認のため、**A地点**のチェックボーリングを実施。
- 堰体コンクリート直下に**0.1m厚の根固め層**、その下に**堆積物は無く**、CL級以上の基盤岩を確認。
- 根固め層のコア採取を試みたが、少量のため**一軸圧縮試験を実施することが出来なかった**。

チェックボーリング状況図



A地点



根固め層0.10mの下層には堆積物は無かった。



根固め層の下層にはすぐ片麻岩が確認された。

